

令和7年8月29日（金）
令和7年度保健師中央会議
資料 5

市町村の統括保健師の配置を 推進している自治体 ～奈良県の取組～

令和7年度保健師中央会議
令和7年8月29日（金）

奈良県福祉保険部医療政策局
健康推進課
参事 田中 考子

本日の内容

1. 奈良県の概況
2. 保健師の配置状況
3. 市町村統括保健師の配置状況
4. 奈良県の統括保健師として

本日の内容

1. 奈良県の概況
2. 保健師の配置状況
3. 市町村統括保健師の配置状況
4. 奈良県の統括保健師として

1.-1 奈良県の概況

- 人口 **1,285,094人** (R6.10.1)
- 65歳以上人口 **423,639人** (R6.10.1) 高齢化率 **33.0%**
- 出生数 **6,943人** (R5) 出生率(人口千対) **5.4**
- 合計特殊出生率 **1.21**
- 死亡数 **16,972人** (R5) 死亡率(人口10万対) **13.3**

- 2040年の奈良県の推計人口

年	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050
人口(千人)	1,324	1,272	1,215	1,151	1,083	1,015	950

- 奈良県の65歳以上推計人口

年	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050
人口(千人)	420	426	429	432	440	429	411

- 奈良県の高齢化率(推計)

年	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050
割合	31.7	33.5	35.3	37.5	40.6	42.3	43.3

日本の地域別将来推計人口－令和2(2020)～32(2050)年－(令和5年推計)』
(人口問題研究資料第349号, ISSN1347-5428)

- 2040年に若年女性が50%以上減少する(推計) 市町村数：**26/39**

1.-2 保健所および管轄市町村

郡山保健所
3市4町1村



約34万人

大和郡山市
天理市
生駒市
山添村
平群町
三郷町
斑鳩町
安堵町

吉野保健所
1市3町8村



約6万人

五條市
吉野町
大淀町
下市町
黒滝村
天川村
野迫川村
十津川村
下北山村
上北山村
川上村
東吉野村



奈良市保健所
(中核市)

奈良市保健所
(中核市)

約35万人



約55万人

大和高田市
橿原市
桜井市
御所市
香芝市
葛城市
宇陀市
川西町
三宅町
田原本町
曾爾村
御杖村
高取町
明日香村
上牧町
王寺町
広陵町
河合町

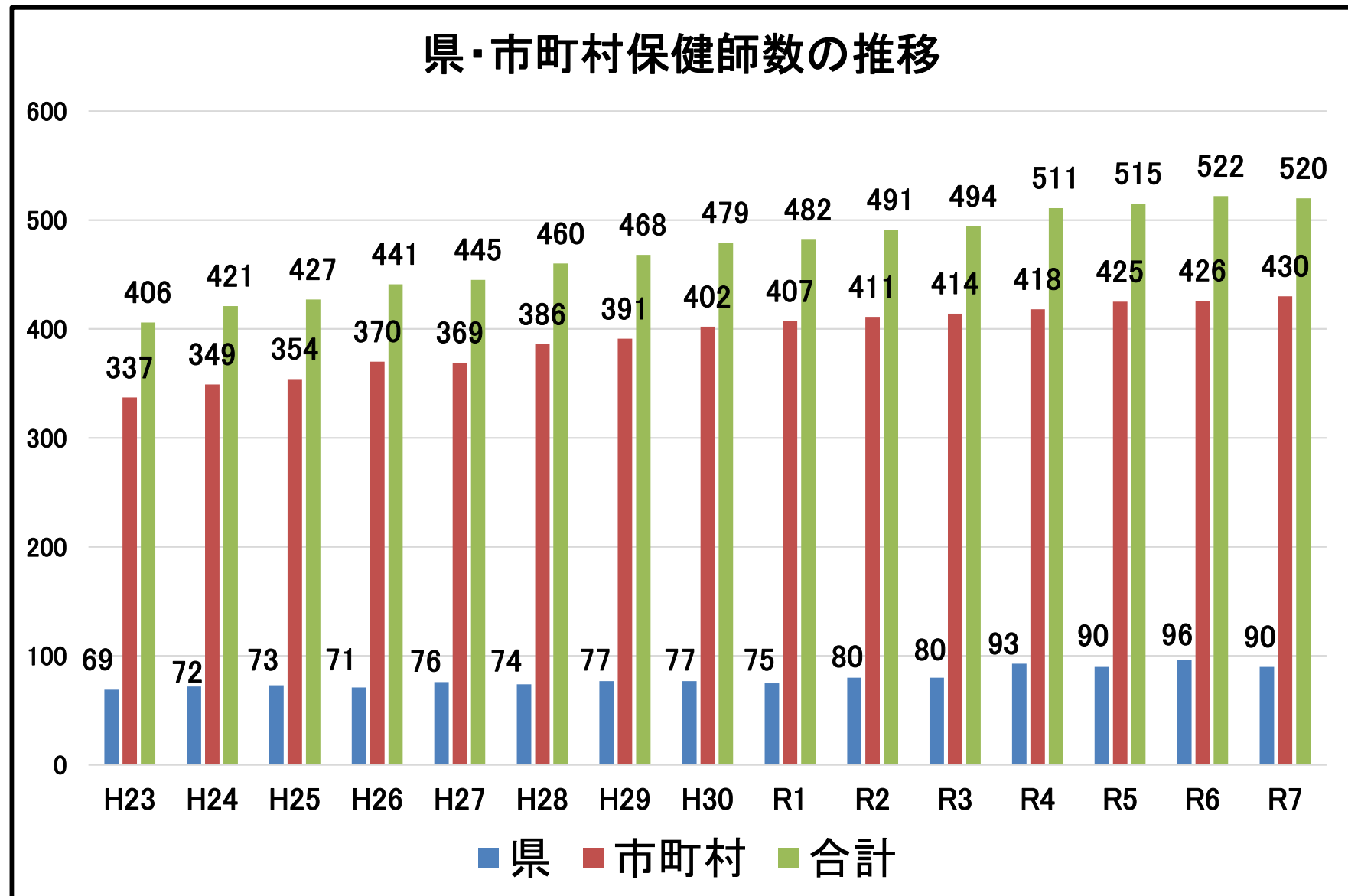
中和保健所
7市8町3村



本日の内容

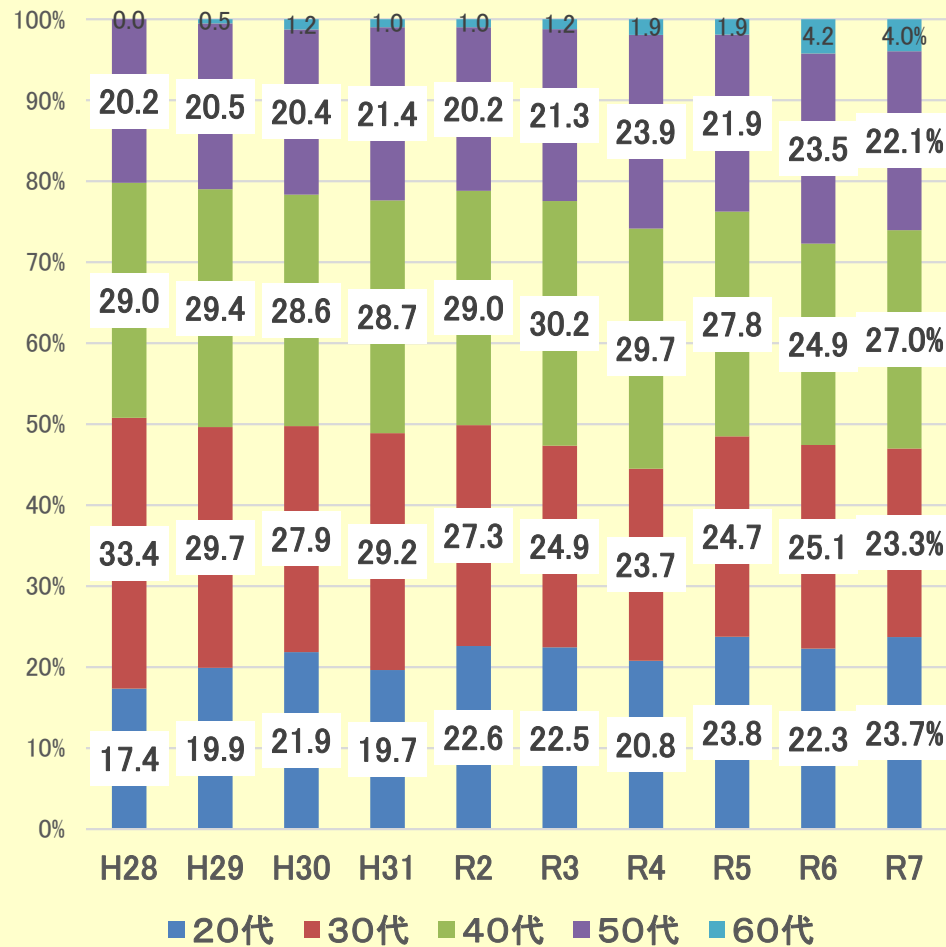
1. 奈良県の概況
- 2. 保健師の配置状況**
3. 市町村統括保健師の配置状況
4. 奈良県の統括保健師として

2.-1 県・市町村の保健師数

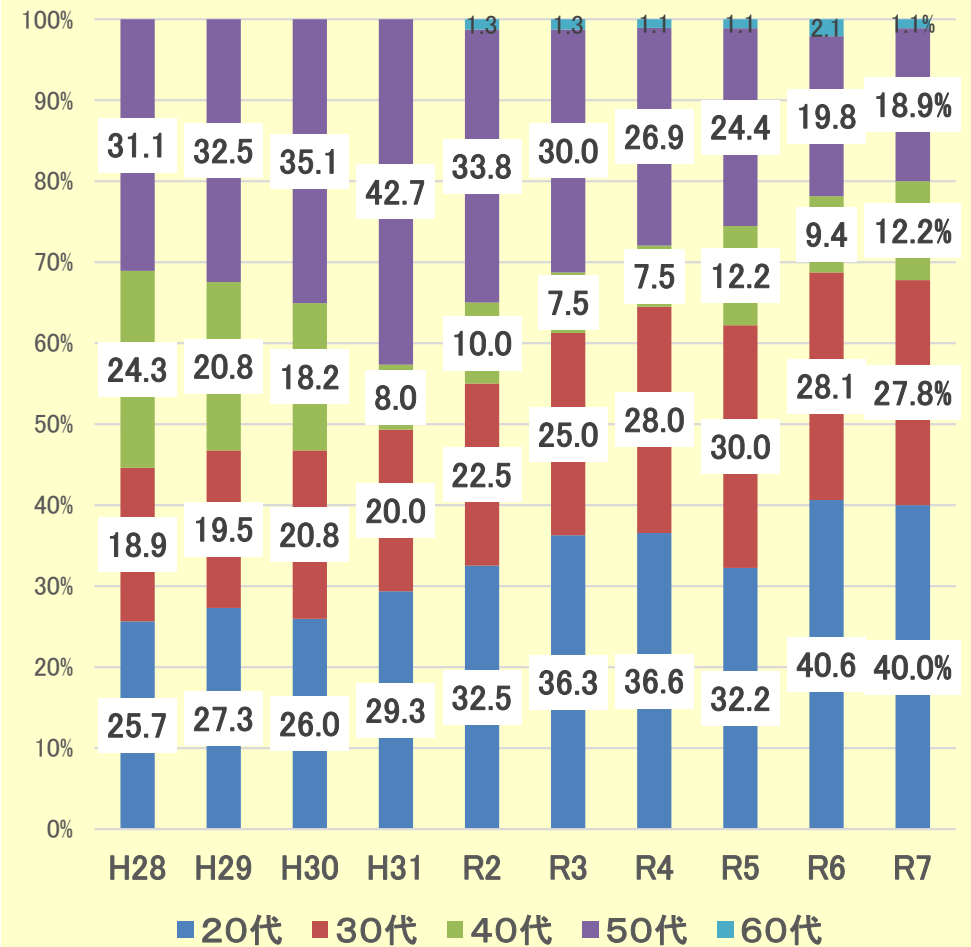


2.-2 保健師の年齢割合

市町村保健師年代別割合

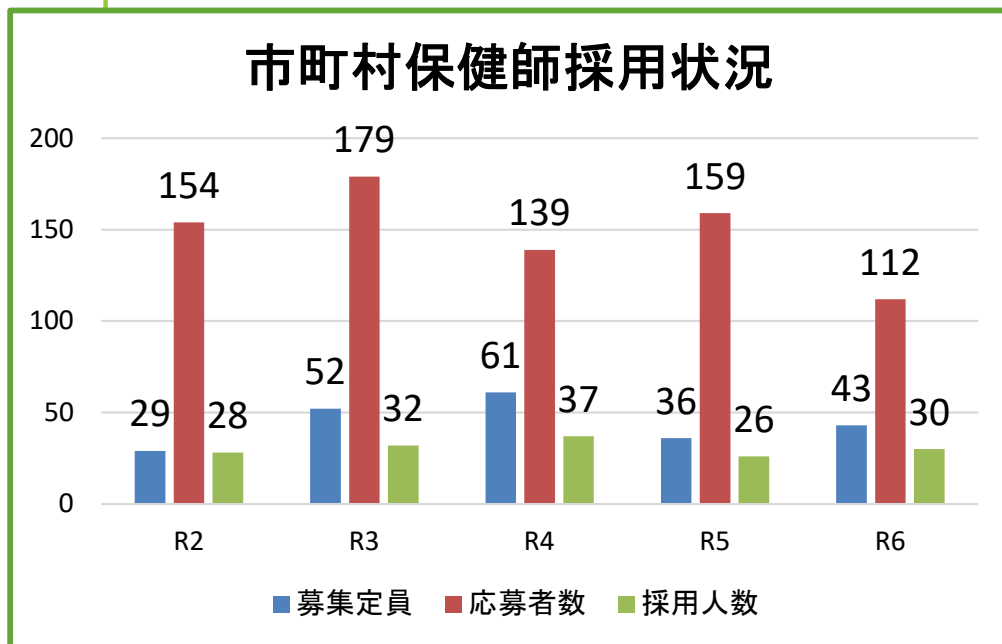


県保健師年代別割合



2.-3 県内保健師の採用状況

【市町村保健師採用状況】



【県保健師採用状況】

採用試験 実施年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
募集定員（人）	10	31	5	14	0
応募者数（人）	19	30	7	20	0
採用人数（人）	7	16	4	13	0

保健師人材確保に向けた県における取組み

- ① 県単独及び県・市町村合同採用説明会
- ② 県内養成校への説明
- ③ 近畿府県養成校へ募集要綱やパンフレットの送付
- ④ 県ホームページ掲載
- ⑤ 県採用試験合格内定者交流会
- ⑥ LINEを活用した登録バンクの運用（採用情報、県内保健師活動の配信）
登録者約803名（R7.5月現在）
- ⑦ 採用募集パンフレット・啓発媒体の作成・配布

本日の内容

1. 奈良県の概況
2. 保健師の配置状況
- 3. 市町村統括保健師の配置状況**
4. 奈良県の統括保健師として

3.-1 市町村別保健師数

●人口別市町村と保健師数

人 口	市町村数	保健師数 ()
30万人以上	1 市	奈良市 (69)
10万人以上	2 市	橿原市 (25) 生駒市 (32)
5万人以上	5 市	大和高田市(23) 大和郡山市 (20) 天理市 (14) 桜井市 (17) 香芝市 (19)
3万人以上	1 市 2 町	葛城市 (14) 田原本町 (9) 広陵町 (10)
1万人以上	3 市 7 町	五條市 (12) 御所市 (11) 宇陀市 (17) 平群町 (12) 三郷町 (9) 斑鳩町 (15) 上牧町 (11) 王寺町 (12) 河合町 (7) 大淀町 (6)
5,000人以上	5 町	安堵町 (6) 川西町 (9) 三宅町 (7) 高取町 (4) 吉野町 (7)
3,000人以上	1 町 1 村	明日香村 (4) 下市町 (3)
1,000人以上	7 村	山添村 (3) 曽爾村 (3) 御杖村 (2) 天川村 (2) 十津川村 (4) 川上村 (2) 東吉野村 (1)
1,000人未満	4 村	黒滝村 (2) 野迫川村 (1) 下北山村 (2) 上北山村 (2)
	12市15町12村	

3.-2 市町村統括保健師の配置状況

●統括保健師を配置している自治体数（全国）

	全自治体	統括保健師 配置自治体数	配置割合
都道府県	47	47	100.0%
市区町村	1,741	1,196	68.7 %
保健所設置市	87	84	96.6 %
特別区	23	19	82.6 %
市町村	1,631	1,093	67.0 %
合計	1,788	1,234	96.5 %

出典：令和6年度保健師活動領域調査（領域調査）結果の概況

●人口別市町村数と統括保健師を配置している自治体（奈良県）

人 口	市町村数	統括の 配置	人 口	市町村数	統括の 配置
30万人以上	1 市	1 市	1万人 未満	5,000人以上	5 町
10万人以上	2 市	2 市		3,000人以上	1 町 1 村
5万人以上	5 市	5 市		1,000人以上	7 村
3万人以上	1 市 2 町	1 市 2 町		1,000人未満	4 村
1万人以上	3 市 7 町	3 市 7 町	統括保健師配置率：87.2%		

令和7年度保健師活動領域調査（領域調査）結果

※令和6年度統括保健師配置率：82.1%

3.-3 市町村統括保健師の設置について

①市町村保健師の人材育成

- 保健師5人以下の町村が14か所、人口1万人未満の町村が18か所
- 町村が単独で職位（新任期・中堅期・管理期）に応じた人材育成研修等を企画するのは困難。
- 市町村におけるOJT、現任教育を県（保健所）と連携し、切れ目のない人材育成体制を構築。さらに、地域のニーズに即した保健サービスの展開や質を確保するため、人材育成担当の役割を担うべき人材として統括保健師の設置を推進。

②健康危機（災害・感染症等）に備えた 県（保健所）と市町村の連携体制の強化

- 人口5,000人未満の町村が 1 町12村
これらの町村の保健師数は
4人（2か所） 3人（3か所） 2人（6か所） 1人（2か所）
- 健康危機発生時の市町村の保健活動を円滑に推進するためには、本庁と保健所が連携し、小規模市町村の保健活動の支援が必須。
- 健康危機発生時に市町村と保健所の情報共有が円滑に行われるよう、平時から県との連携体制、情報共有等の役割を担うべき人材として統括保健師の設置を推進。

③ 2040年問題を見据えた保健事業のあり方の検討

- 人口減少、高齢化に伴い、小規模の町村では単独で保健事業や介護サービスの継続維持が難しい状況になることが想定される。
- このことをふまえ、将来の保健・介護サービスの提供体制のあり方の検討が必要。
- 小規模の単独町村だけで解決しにくい保健活動にかかる地域課題を検討していくための人材として統括保健師の設置を推進。

3.-4 現状と課題

- 市町村の人事部門や保健部門への働きかけにより、市町村の統括保健師の設置はすすんだ。しかし、統括保健師であっても、保健師として一人の課員であり、組織横断的な調整は組織を超えて越権になると考えたり、保健師のジョブローテーション等の権限がなかったりと、国が示す役割を果たせているとは言えない。
- 統括保健師の役割を果たすためには、人事部門からの辞令等が必要と、県から市町村への働きかけを求める声もある（市町村統括保健師から）。
- 今後は市町村統括保健師の置かれている立場、役割、市町村としての認識等を確認し、課題解決に向けた取り組みが必要と考えている。

3.-5 現在の取り組み

- 統括保健師の連絡先を毎年調査、共有すること、毎年、統括保健師ネットワーク会議を開催し、共有すべきこと、検討すべきことをテーマに掲げ、検討の場を設けている。このことにより、市町村と県の統括保健師間の連携強化につながっている。
- 統括保健師の設置がない市町村であっても、担当として統括保健師ネットワーク会議に参加を呼びかけており、保健所と市町村の連携や情報共有できるよう配慮している。
- 保健所統括保健師を設置しており、保健所と管内市町村という単位でも災害時の連携等体制を検討している。

本日の内容

1. 奈良県の概況
2. 保健師の配置状況
3. 市町村統括保健師の配置状況
4. **奈良県の統括保健師として**

4.-1 奈良県の統括保健師として

成長する組織に

- 業務を通じた**経験を次に応用**していくという**循環の習慣**をつくる（人材育成）
- とりあえずやってみる、経験をたくさん積ませるということよりも、実施（経験）の前の想定と、実施（経験）後の**振り返りを行い、次に活かせる学び（気づき）**に結びつけていくというフォロー体制が重要。

心理的安全性の高い職場を目指す

- メンバー一人ひとりがチームに対して気兼ねなく発言でき、自然体の自分でいられる環境・雰囲気
- ミスをしてしまった時に、素直にチームメンバーに伝えることができる
- 困った時に、チームメンバーに助けを求めることができる
- 情報の共有や意見交換が盛んに行われる

市町村の課題に対応できる保健所に

- 広域的・専門的な保健所の役割をふまえ、支援・指導
というより、ともに考える姿勢を大切に
- 市町村保健師の困りごとに耳をかたむけ、話を聴く
姿勢を大切に
- 市町村から信頼される人間関係の構築を
- 市町村の取り組みの成果が、県全体の成果につながる
- 市町村が自律した活動ができるよう、市町村の実情に
応じた支援を

ご清聴ありがとうございました

